

ひたちアジア

第42号

2012年(平成24年)1月

日立市民や外国人のみなさんが 観る・聴く・話す・食べる を楽しんだ

第9回 ひたち国際文化まつり開催



2階多用途ホールでの日本語意見発表会の様子

第9回ひたち国際文化まつり 第21回外国人の皆さんの日本語意見発表会



優勝した中国の廖 波瀾さん



準優勝のベトナムのチャン・ヴィトウさん

「第9回ひたち国際文化まつり」は、昨年11月12日(土)10時から日立シビックセンターで開催されました。開催前9時から、アトリウムで行われたミーティングでは、3月11日の「東日本大震災」で被災された方々のために、1分間の黙とうを捧げ被災地が一刻も早く元に戻ることを祈るとともに、この国際文化まつりが無事終了することを願いました。入場者数は8日から13日までの展示期間を入れて約2,700人でした。

おまつり当日は快晴で、会場を訪れた日立市民・外国人のみなさんが観る・聴く・話す・食べる等で国際交流を楽しみました。シビックセンターには多くの外国の方々が訪れて交流の輪が広がっていました。

第9回 ひたち国際文化まつり

1階 (Kids & Experience Zone)



広くなったギャラリーでは、市内小中学生と市内在住外国人の子供たちによる854点もの絵画展が6日間にわたって行われました。同時にアトリウム中央での写真展では、今年度のテーマ国「ネパール」の文化を紹介しました。ガールスカウト10団はスタンプラリー・クラブ

ト・バンブーダンス・スティックゲームなどで楽しませてくれました。初めての試みとして、茨城キリスト教



大学で勉強中の女子留学生（中国・ベトナム）とALTとして市内の小中学校で活躍中の英米両国の若者（男子）2人、そして中国語が堪能な日



中友好協会の女性が中国語・ベトナム語・英語・・・勿論日本語も交えながらの言葉の交流で各国の文化に接することができました。

2階 (Talk Zone)

第21回目となった「外国人の皆さんの日本語意見発表会」には13人（男性7人、女性6人）が参加して、日頃学んだ日本語で素晴らしい発表をしてくれました。今回の意見発表は、特にレベルが高かったという感想が多く寄せられました。

また、発表終了後には、日立市の国際親善姉妹都市ニュージーランド・タウランガ市に短期留学した日立市の中学生6人が、その生き生きとした体験について報告してくれました。近い将来、彼らが日立の国際交流の牽引者になっていくことでしょう。次回も中学生達の発表を聴けることを期待しています。

4階 (Eating Zone)

今年もこの国際屋台村がいい匂いと味に包まれて賑わいました。国別では中国・ラオス・インド・フィリピン・バングラデシュ・ネパール・・・料理ではタンドリーチキン・レッドカレー・リッチフラン・カボチャとココナッツミルクのデザート・バナナケーキ・コーヒー等々に舌鼓を打ちました。中でもネパールの「ウシノタマゴ」はネーミングが面白くて人気がありました。

5階 (Culture Zone)

お茶会体験は和室で計74人が気軽に参加しました。生け花体験では、プラスチック製の折りたたみができる花瓶が見栄えよく、みなさんに楽しんでもらえました。あわせて、各階のコーナーには



日立で勉強した外国人の皆さんの生け花が飾られて会場を彩りました。

また、同フロアで、アジアの国々の文化が紹介されました。まず、「中国を楽し



もう！」と称して、組ひもの作り方教室や中国茶、玩具、そして映像により、中国文化の紹介をしました。その他、ネパールの文化紹介やカンボジアの民芸品などを販売するアジアンバザールが催され、賑わいを見せていました。



7階 (Consultation for Foreigner)

初めての試みでしたが、日立在住外国人のための生活・健康相談会が行われました。

強力なボランティア活動

日立二高の生徒23人の皆さんが、当日各コーナーのお手伝いをしてくださり、大変好評で、参加した国際交流団体からもお礼の言葉がございました。これからもお願いしたいと思います。協力いただいた皆様のますますのご活躍をお祈りし、本紙を通してお礼申し上げます。

カンボジア通信 NO.8

青年海外協力隊(理数科教師) 浅水 伸介

カンボジアで青年海外協力隊員として活躍中の浅水さんは、茨城大学在学中に「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」の活動にご協力いただいた方です。現地の様子をシリーズでお伝えしていましたが、この通信を書いていただいた後、昨年2011年夏で任期を終えて帰国されました。しかしまた本年1月にカンボジアに戻られました。今後は別の切り口で何らかの紹介をさせていただく予定です。おたのしみに。

～ 卒業活動の終わりを迎えて ～

2009年1月から2年半、青年海外協力隊員としてカンボジアで過ごしてきましたが、7月に活動を終えて帰国いたします。カンボジア通信への寄稿は今号で最後になります。

2年半の活動を通して、カンボジアには真面目で勤勉な人が多いと感じました。さすがあの巨大遺跡アンコールワットを建造した先祖を持つ人々です。私はカンボジアの教育に対する『支援』という名目で活動してきましたが、実際には現地の人々との交流を通して、彼らから助けられた事、学んだ事の方がはるかに多かったです。やはり、現地の人々の力添え無くては、いくら先進国の知恵や技術をもっていても、現地には普及していかないということを痛感しました。カンボジアの人々と共に汗をかき、苦楽を共にできたことは私の人生における宝です。

カンボジアの教育ですが、まだまだ問題が山積みです。子供の低就学率、低識字率、教材や教師の不足などです。だからといって日本のような教育システムにするのも良くないと思いました。日本にも教育上の問題が数多く存在します。

カンボジアではまず考えられない陰湿ないじめ、学級崩壊などは、学校教育がもはや当たり前になってしまった日本特有の問題に感じます。物質的に恵まれ便利になった日本と比較してカンボジアは不便です。何もかもが手作業ですし、社会的弱者は放置されたままです。ただ、その分人々が助け合っている社会であると印象を受けました。

日本では自立することが良い事という価値観がありますが、実際には誰も関わりを持たない、つまりは孤立してしまっていて精神を病んでいる人々も数多くいるのが現状です。カンボジアではこのような問題はほとんど聞きません。皮肉なようですが、少

し不便なところがある方がかえって人々の絆を強め、良い社会を作っていけるような気がします。

また、日本では良いとされている効率化社会にも疑問を感じます。国づくり、人づくりには機械作業的に効率を考えるのでは無く、真正面からカンボジア社会に飛び込んでいって試行錯誤を重ねながらその国にあったやり方を探ることが必要不可欠です。

そのため、支援には型というものが存在せず、私達ボランティアはいろいろな方法をカンボジアの人々に紹介し、それをカンボジアの人々に取捨選択してもらうことが必要です。それには多くのインプットが必要になってくるのです。

カンボジアは今まさに急速に発展しています。

鉄道が再敷設され、高層ビルが建ち、道は次々に舗装されています。3ヶ月も経てば街並みはどんどん変わります。そのため、カンボジアもどんどん効率化社会に向かっていくのでしょうか。カンボジアが発展していく事は良い事ですが、決して日本のコピーにはなってもらいたくはありません。私は

帰国後もカンボジア社会の

変化を見守りつつ、カンボジアファンが増えてくれるような活動をしていけたらと考えています。

今までカンボジア通信を愛読していただいた皆様、日本から私の活動を支えてくれた方々、本当にありがとうございました。日本に帰って皆さんとお会いできることが楽しみです。

「ひたちとアジア文化交流をすすめる会」の方々におかれましては、外国人留学生や研修生などと多く交流されているとは思いますが、これからも温かい手を差し伸べ、彼らにとっての第二の故郷、第二のお母さん・お父さんになり続けていっていただくことを願ってやみません。(2011年5月記)



私の送別会で：学生たちに囲まれて(前列左から5人目)

情報コーナー

狂言教室

と き 平成24年2月22日(水)
 午前の部 開演 10:30
 午後の部 開演 13:30
 ところ 日立シビックセンター
 音楽ホール特設能舞台
 入場料 全席指定(2階席のみ)
 一般 2,000円
 高校生以下 1,000円
 (発売中)



狂言『附子』

演目 レクチャー&
 デモンストレーション
 鑑賞学校の生徒を対象にした
 狂言体験
 解説(狂言の歴史など)
 狂言『盆山』
 狂言『附子』

出演 野村扇丞ほか萬狂言一門

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2012年1月~3月)

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
日立市 日中友好協会	春節祭(中国人のお正月を お祝いする会)	1月22日(日)16:00	日立市民会館 111号室	090-2531-5444(白土)
フレンドリー あんず	ET会韓国の巻きずし(キムパ)	3月(予定)	女性センター	0294-37-2038(安藤)
	外国人のための生け花クラブ	第2又は第3水曜日 10:00	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-25-3728(反町) 0294-42-8176(金岡)
国際交流 ボランティアネット ワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-21-5849(横田)
	国際理解講演会 講師:リーゼ・ハワード(カナダ)	2月4日(土) 13:30	日立シビックセンター 502号室	
	全員集合(総会とミニサロン) 「インド人の話とバイオリン演奏」	3月3日(土) 13:30	女性センター	
日立ユネスコ 協会	成人式コアアクション	1月8日(日)	新都市広場	0294-35-6034(藤原)
	「絵で伝えよう!私の町のたから もの絵画展」 県合同展	1月24日(火) ~29日(日)	県立図書館	
	「絵で伝えよう!私の町のたから もの絵画展」 県巡回展 in 日立	2月7日(火) ~12日(日)	イトーヨーカドー 日立店3階	
	書き損じはがきキャンペーン	1月~3月	書き損じはがき回収箱 設置場所(交流センタ ーほか)	
ガールスカウト 10団	おめでとう会	1月22日(日)		0294-23-3156(小貴)
	おさそい会(見学会)	2月4日(土)		
	シンキングデイ	2月26日(日)		

活動記録

(2011. 10. 1~12. 31)

編集後記

- ◆活動推進部会(メンバー定例会)
10/16、12/13
- ◆広報部会 12/19、12/23、1/18
- ◆ひたち国際文化まつり実行委員会
10/28、12/16

2012年になって、あれから1年近く経ても、まだ毎日のように余震が続いています。難しいかもしれませんが、いつ来るかもしれない大自然の脅威に対するには、常日頃の備えが必要です。まず、自分の身の回りのことから見詰め直すことを、第一にしましょう!そして人と人とのつながりの大切さと、国際交流の大切さを大事に育てていかなければ! (MORI 記)

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 ホームページ <http://www.civic.jp/hitachi-asia/>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで

TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp